

教育

子どもの個性を開花させる教育先進都市

- 未来の港区は「教育イノベーションの中核拠点」の役割を担い全国に良い取組を発信している。
- 先進的な教育とは、昭和時代のように子どもたちが主体的に自由に遊ぶ「空間」「時間」「仲間」「隙間」のある環境かもしれない。
- 教員・保護者・子どもの声を聴く「対話の場」を設けることが必要。



環境・リサイクル

街づくり

気候変動対策のモデルシティ

- 港区には温暖化対策を推進し、世界の手本となるようなまちになってほしい。
- 大手企業と連携し、行政主導で温暖化対策を推進すべき。
- 区民には自転車移動を推奨し、駐輪場や自転車レーン整備、緑化強化などの取組を進めるべき。



教育

港区港南エリアにおける小学校増設のご要望

- 港南小学校は区内で最も児童数が多い。
- 港南エリアでは複数マンションの建設で児童数が増加する可能性がある。
- 港南エリアで小学校の増設をすべき。



産業・地域振興

環境・リサイクル

路上喫煙、路上飲酒、オーバーツーリズム

- 路上での喫煙や飲酒、オーバーツーリズムの問題について対策を講じてほしい。
- 商店街などに監視カメラを設置することなども必要。
- 港区は路上喫煙に過料を課さず、予算をパトロールに投じていて制度の見直しをすべき。
- 完全分煙型の喫煙所などをもっと増やすべき。



教育

港区でやってほしい教育

- 国際社会で活躍できるための教育をしてほしい。
- アシスタントティーチャーの導入、インターナショナルスクールへの助成金など、国際教育への支援が必要。
- 文部科学省の「学習指導要領」により、大人数型の授業の改善が難しい。
- 異文化を尊重しつつ、日本の文化や歴史への理解と誇りを持つことも重要。
- 大使館や外資系企業と連携し、食やスポーツ、音楽を通じた異文化交流の機会を広げることが必要。



港区における“余白”を生かした主体的教育の推進に向けて

- 港区は多様な教育ニーズに対し、教師の余裕不足や地域資源の活用が課題。
- 児童生徒と教師に“余白”を創出し、主体的な学びを支援すべき。
- 「授業時数特例校制度」の活用による探究時間の拡充が必要。
- 地域資源と学校をつなぐ「学びのポータルサイト」を構築すべき。
- 自律的な学習計画を支援する仕組みの導入が必要。
- 教員の探究的実践の支援制度とコミュニティ創設が必要。
- “余白”を軸にした学びの実現には親の理解が必要。



港区発の文化創出にかかる提言(めいたもの…)

- 港区は創作とビジネスが結びつきやすい希少な都市空間でそのポテンシャルが高い。
- 「展示→販売」「制作→配信」のプロセスまでを伴走支援する仕組みを整備すべき。
- アーティストやIT人材が交流できる共創空間や拠点を港区内に設置すべき。
- 海外イベントとの連携や区内企業とのコラボ支援も有効。
- クリエイティブシティは、港区がこれからも発展していくために極めて重要なキーワード。



動画より刺激的な体験。みなそとプレーパーク

- みなそとプレーパークでの自然体験が子どもたちにとって重要であり、このような場所をもっと増やすべき。
- 外で思い切り遊ぶ体験をすることが、子どもにとって何よりも良い教育だ。
- プレーパークは、自分で遊びを見つけ、自分の責任で自由に過ごせる。



理想の港区は〇〇なまち！

- ちょっとしたところで自然を感じられるまちがいい。
- 港区は自然が残っていることをもっとアピールすべき。
- 必要な情報・支援が、必要な人に届いているまち。
- 再開発よりも歴史的建造物の保存に力を入れることが必要。



無い物ねだりということで

- 子どもが農業などの自然を感じられる機会は少ない。
- 農業等の体験ツアーは人気で、倍率が高くて参加できない。
- 農業体験など港区単独では難しい取組を連携自治体と共に実現してほしい。



子ども・子育て

教育



港区がリードする新たな少子化対策とEBPM政策立案メカニズム - 「東京ブラックホール論」の誤解脱却に向けて

- 東京の低出生率は誤解で、都心部は出生率が高く、都市集中と支援拡充で出生数増加が期待できる。
- 港区は都市型の少子化対策モデルを実施すべき。
- 質の高い公教育を提供して子育て世帯の教育費負担を軽減すべき。
- 現金給付や家賃補助など、区独自に柔軟に対応できる仕組みが必要。
- 自転車練習場所や水泳教室の不足など、日常的な課題への対応も重要。



意見交換用のプラットフォームについて

行政経営

- 現状のプラットフォームは意見が収集しづらく、盛り上がりをつくりにくい構造になっている。
- もっと気軽に分かりやすく使える形式の方がいい。
- 掲示板は役所がスレッドを準備し、書き込みへのインセンティブを充実させてほしい。



街づくり



レンタサイクル

- レンタサイクルを増やしてほしい。
- 関連して電動キックボードの乗り場も増やしてほしい。



街のゴミ箱を増やしてほしい

環境・リサイクル

- ゴミ箱が少なくとても不便。
- 六本木などゴミが散乱しているイメージ。
- 六本木のような繁華街にはもっとゴミ箱を設置すべき。



働く人にもやさしいまち

産業・地域振興

- 港区は企業やオフィスが多く日中人口が多い。
- 働く人に優しいまちづくりを率先することで、まち全体の活性化につながる。





税金の使い方について

街づくり

行政経営

- 港区のマーク入り茶色のガードレールは目立たず、安全性に疑問。
- 税金の使い道や使い方が透明で、より区民が参画できる形が望ましい。
- 税金の使い方や費用対効果について、見直しが必要。



水辺に親しみのあるまち

環境・リサイクル

- 港区の持つ資源を活用し、水辺での自然体験や環境保全活動など、都心にいても人々が水辺（自然）とつながっているまちになってほしい。



家庭や子育てに関する多様な価値観に触れる体験の重要性

子ども・子育て

- 港区では結婚や子育てに対する価値観が多様化し、若者が将来の家庭像を描きにくいという声が多い。
- NPO法人manmaの「家族留学プログラム」は、若者に多様な家族や子育て体験を通じ、ライフデザインを考える機会を提供している。
- 体験型支援を行政と連携させ、若者の自己実現を地域全体で応援する取組を期待。
- マンション自治会と連携してこういう取組もどんどん進めてほしい。



保育と教育にどのように関われるか日々考えています

子ども・子育て

教育

- 子どもたちの好奇心や自主性が現代の生活や大人の言葉で失われていないか心配。
- 社会全体で支え合いながら「大人になるのが楽しみ」と思える環境をつくりたい。
- 毎日を過ごす“学校”という場所が、もっと自由で、豊かな学びの場になってほしい。

